

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校6年生

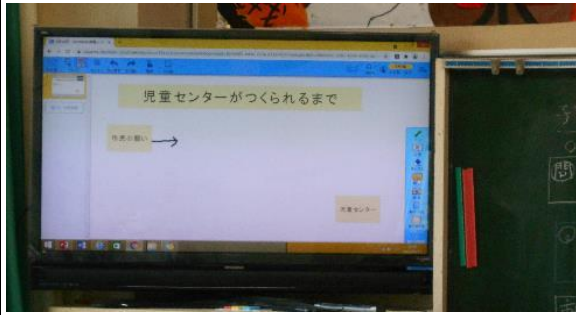
社会

B4 表現・制作

児童生徒

2 概要

教科書、資料集を参考に市民の願いから子育て支援センターができるまでの過程を簡単なフローチャートでまとめさせた。



本時のめあて

市民の願いから子育て支援センターができるまでの過程をまとめよう。

本時の展開の概要

昨今の社会情勢から、子育て支援に必要なものは、何かを考えた上で、それを実現できる場所(子育て支援センター)があることを伝えた。どのような経緯でできたのかを、タブレットを使って、フローチャートにまとめさせた。作成の直前にフローチャートとは何かを、朝のルーティンの例とともに説明した。

ICT機器の活用でねらった効果

発表ノートの操作への慣れ。
重要語句や機関の名称への慣れ。
情報の整理。

単元(題材)名

政治:子育て支援の願いを実現するための政治

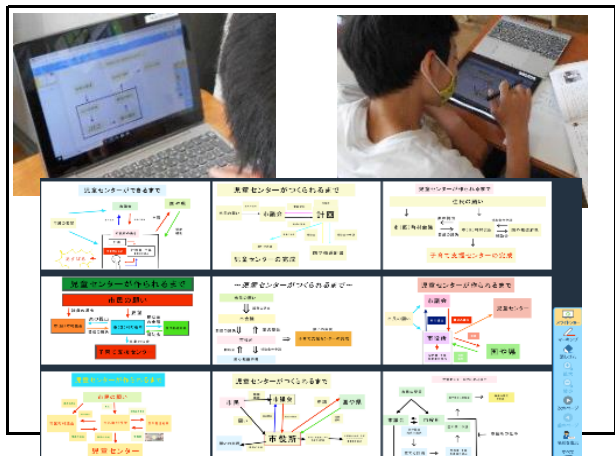
単元(題材)目標

地方公共団体や国の政治の働きについて、市役所などの見学・調査や収集した資料を活用して調べ、政治は国民生活の向上と安定を図るために大切な働きをしていることを考えるようにする。

活用したICT機器、アプリケーション等

児童用タブレット、SKYメニュークラウド;発表ノート

写真・記録



児童生徒の様子(成果や課題)

授業に参加したほとんどの児童が、教科書の図を参考に、言葉と矢印のみのフローチャートを完成させることができた。初めて、自分のタブレットでskyメニューを動かしたが、比較的スムーズに操作できていた。児童の作成したものの中で、見やすかったものを、本人の許可を得てから、パワーポイントに張り付けて、学級全員に共有することができた。

一方で、まだタイピングに不慣れな児童が多数いた。まだ、まとめ方が定まっていない児童も多かった。

また、回収した児童の発表ノートに評価、コメントは入れられるが、それを即座に学級全体に共有する方法がなさそうなので、模索中である。

狭山市立柏原小学校 名前: